

特に断らなければ  $\mathbf{u} = (x, y, z) \in \mathbb{R}^3$  とし、関数やベクトル場は全て  $C^\infty$  級のものとする。ベクトルは縦横のどちらで書いても差し支えない。  $\partial_x f := \frac{\partial f}{\partial x}$  のような略記は断りなく用いてよい。要点が押さえられていれば、必ずしも全ての計算過程を書く必要はない。答のみ問う問題でも、誤りを含む途中経過が書かれている場合は減点対象となり得る。

1. 次の問に答えよ。(1)~(4) は答のみ記述せよ。

- (1) ベクトル場  $\mathbf{V}(\mathbf{u}) = (z^2x - 4xy + x, x^2y - 6yz + 4y, y^2z - 2zx + 9z)$  に対し、  $(\operatorname{div}\mathbf{V})(\mathbf{u}) = 0$  となる  $\mathbf{u} \in \mathbb{R}^3$  をすべて求めよ。
- (2) ベクトル場  $\mathbf{W}(\mathbf{u}) := (y^4 + z^2, z^4 + x^2, x^4 + y^2)$  に対し、  $(\operatorname{rot}\mathbf{W})(\mathbf{u}) = \mathbf{0}$  となる  $\mathbf{u} \in \mathbb{R}^3$  をすべて求めよ。
- (3) 関数  $f(\mathbf{u}) := x^2 + y^2 - 2x + 6y$  に対し、  $\operatorname{grad}(f)(\mathbf{u}) = \mathbf{0}$  となる  $\mathbf{u} \in \mathbb{R}^3$  をすべて求めよ。
- (4) ベクトル場  $\mathbf{U}(\mathbf{u}) := (\log(1 + e^{y^3(z^2+1)}), \cos(\sin(z^2 + x^3)), \sin(\cos(x^4 + y^2)))$  に対し、  $\operatorname{div}(\operatorname{rot}\mathbf{U})$  を計算せよ。
- (5)  $\mathbb{R}^3$  内の領域  $\Omega$  上のベクトル場  $\mathbf{V}$  が  $\operatorname{rot}\mathbf{V} \neq \mathbf{0}$  をみたすとき、  $\mathbf{V} = \operatorname{grad}(g)$  となるような  $C^\infty$  級関数  $g: \Omega \rightarrow \mathbb{R}$  は存在しないことを証明せよ。

2.  $f(\mathbf{u}) := x^2 - y^2 - z^2 - 6x + 4y + 2z + 3$  とし、  $S := f^{-1}(0)$  とおく。

- (1)  $S \neq \emptyset$  であること、  $S$  は曲面であることを示せ。
- (2)  $\mathbf{v} = (a, b, c) \in S$  に対し、部分ベクトル空間  $T_{\mathbf{v}}S \subset \mathbb{R}^3$  を表す方程式を求めよ。(答のみでよい)
- (3)  $(3, 2, 1) \in T_{\mathbf{w}}S$  となるような  $\mathbf{w} \in S$  をすべて求めよ。
- (4)  $x = k$  で表される  $\mathbb{R}^3$  内の平面を  $H$  とする。  $H \cap S \neq \emptyset$  となるような  $k$  の範囲を求めよ。(答のみでよい)
- (5)  $S$  は閉曲面かどうか、理由とともに答えよ。

3.  $S^2 := \{\mathbf{u} \in \mathbb{R}^3 \mid |\mathbf{u}| = 1\}$  とし、  $p := (0, 0, -1) \in S^2, V := S^2 \setminus \{p\}$  とおく。  $(s, t) \in \mathbb{R}^2$  に対し、  $(s, t, 0) \in \mathbb{R}^3$  と  $p$  を結ぶ直線と  $V$  の交点を  $\varphi(s, t)$  とおくと、  $\varphi: \mathbb{R}^2 \rightarrow V$  は構成から明らかに全単射である(証明不要)。

- (1)  $(s, t) \in \mathbb{R}^2$  に対し、  $\varphi(s, t) \in V$  を  $s, t$  を用いて表せ。(答のみでよい)
- (2)  $(x, y, z) \in V$  に対し、  $\varphi^{-1}(x, y, z) \in \mathbb{R}^2$  を  $x, y, z$  を用いて表せ。(答のみでよい)
- (3)  $3x + 2y + z = 0$  で表される  $\mathbb{R}^3$  内の平面を  $H$  とする。  $X := \varphi^{-1}(S^2 \cap H) \subset \mathbb{R}^2$  はどのような図形か答えよ。
- (4)  $D^3 := \{\mathbf{u} \in \mathbb{R}^3 \mid |\mathbf{u}| \leq 1\}$  とし、  $V$  と  $D^3 \cap H$  で囲まれる有界領域を  $\Omega$  とおく。  $\partial\Omega$  の向きを  $\Omega$  の内部から外部に向かう法ベクトルで定めるとき、  $\mathbf{V}(\mathbf{u}) := (-x, 2y, -3z)$  に対し、  $\int_{\partial\Omega} \mathbf{V} \cdot \mathbf{n} dS$  を計算せよ。

4. (1)  $\mathbb{R}^3$  上の任意のベクトル場  $\mathbf{V} = (V_i)_{i=1}^3 = (V_1, V_2, V_3)$  と  $\mathbf{W} = (W_i)_{i=1}^3$  に対し等式

$$\operatorname{rot}(\mathbf{V} \times \mathbf{W}) = (\operatorname{div}\mathbf{W})\mathbf{V} + k(\operatorname{div}\mathbf{V})\mathbf{W} + (\mathbf{V} \cdot \operatorname{grad}(W_i))_{i=1}^3 + l(\mathbf{W} \cdot \operatorname{grad}(V_i))_{i=1}^3$$

が成立するような定数  $k, l \in \mathbb{R}$  を求めよ。(答のみでよい) ヒント:  $\mathbf{V} = \mathbf{W}$  の場合を考えよ

- (2)  $\mathbf{m}: \mathbb{R} \rightarrow \mathbb{R}^3$  を  $\mathbf{m}(t) := (\cos t, \sin t, 0)$  で定め、以降  $\Omega := \mathbb{R}^3 \setminus \mathbf{m}(\mathbb{R})$  とおく。  $t \in \mathbb{R}$  と  $\mathbf{u} \in \Omega$  に対し  $\mathbf{V}^t(\mathbf{u}) := \frac{\mathbf{u} - \mathbf{m}(t)}{|\mathbf{u} - \mathbf{m}(t)|^3}$  とおくと、  $\mathbf{V}^t$  は  $t \in \mathbb{R}$  に依存して変化する  $\Omega$  上のベクトル場と考えられる。  $t \in \mathbb{R}$  を固定したとき、  $\Omega$  上の関数  $\operatorname{div}\mathbf{V}^t$  を求めよ。(答のみでよい)
- (3)  $\mathbf{u}_0 = (x_0, y_0, z_0) \in \Omega$  を固定する。(2) のベクトル場  $\mathbf{V}^t$  に対し、  $\frac{d(f_i \circ \mathbf{m})}{dt}(t) = \frac{d\mathbf{m}}{dt}(t) \cdot \operatorname{grad}(V_i^t)(\mathbf{u}_0)$  をみたす関数  $f_i: \mathbb{R}^3 \setminus \{\mathbf{u}_0\} \rightarrow \mathbb{R}$  ( $i = 1, 2, 3$ ) を求めよ。(答のみでよい)
- (4)  $t \in \mathbb{R}$  に依存する  $\Omega$  上のベクトル場  $\mathbf{W}^t = (W_i^t)_{i=1}^3$  に対し、  $\int_a^b \mathbf{W}^t(\mathbf{u}) dt := \left( \int_a^b W_i^t(\mathbf{u}) dt \right)_{i=1}^3$  と定める。(2) の  $\mathbf{m}$  と  $\mathbf{V}^t$  に対し、  $\mathbf{B}: \Omega \rightarrow \mathbb{R}^3$  を  $\mathbf{B}(\mathbf{u}) := \int_0^{2\pi} \mathbf{V}^t(\mathbf{u}) \times \frac{d\mathbf{m}}{dt}(t) dt$  で定めるとき、  $\operatorname{rot}\mathbf{B}$  を計算せよ。
- (5)  $n = 1, 2, \dots$  に対し、周期 1 の正則曲線のパラメータ  $\mathbf{l}_n: \mathbb{R} \rightarrow \Omega$  で、  $|s| < \frac{1}{4}$  のとき  $\mathbf{l}_n(s) = (0, 0, 4ns)$ 、また  $\frac{1}{4} \leq s \leq \frac{3}{4}$  のとき  $|\mathbf{l}_n(s)| \geq n, \left| \frac{d\mathbf{l}_n}{ds}(s) \right| < 8n$  をみたすものが与えられているとする。  $\lim_{n \rightarrow \infty} \int_{\mathbf{l}_n} \mathbf{B} \cdot d\mathbf{l}_n$  を計算せよ。
- (6)  $\Omega$  は単連結かどうか、理由とともに答えよ。

配点: 15, 15, 15, 15 (1:  $3 \times 5 = 15$ , 2:  $3 \times 5 = 15$ , 3:  $3 + 3 + 4 + 5 = 15$ , 4:  $1 + 3 + 3 + 3 + 3 + 2 = 15$ )